

第4節 平成30年度 資料館における社会教育活動

1. 山口県立山口博物館との共催事業『講座 古代ウォーク(長門市深川)』

平成29年度の社会教育活動報告(本書9頁)に、当事業は「山口県内を県央部、西部、北部、東部の4ブロックに分け、順繰りに見学地域を設定し」と記載した。順番通りであれば、平成30年度は県西部が対象地となるところであったが、考古学的な知見から、阿武国の勢力範囲は6世紀後半には阿武と大津に分離したと推定されること、両地域とも古墳時代後期から終末期にかけての墳墓のあり方に特色が見られること、そして両地域の首長が古代寺院を造営する点で共通することを重視し、山口県立山口博物館との協議の結果、2年連続とはなるものの、県北部の長門市深川を対象地として決定し、10月13日(土)に長門市教育委員会共催にて『講座 古代ウォーク』を開催することとなった。

開催にあたり、5月1日(火)にコース詳細設定のための現地視察を行い、ある程度自家用車を用いなければ実施は困難であることを確認した。開催直前の10月4日(木)には保存状況が不明確であった上藤中横穴墓群^{かみ}の現状確認を行うと同時に、当事業に合わせ10月1日(月)から『発掘された長門〜ご近所の古代史〜』が開催されていたながと歴史民俗資料室にて、訪れる遺跡の出土資料を確認したほか、学術公開が行われていない採取品なども実見させていただいた。

平成30年度も募集定員は15名としていたが、定員を上回る21名から申し込みがあったため、全員の受け入れを決定した。そのほか、長門市歴史民俗資料館で行う資料解説のみ参加したいという方も当日受け入れることとなった。講座のスケジュールは以下の通りである。

13時00分～13時40分 ながと歴史民俗資料室にて資料(椋塚横穴墓群出土品(山口県指定文化財)、上藤中横穴墓群出土品、長門深川廃寺等の出土品)の解説(写真27)

13時40分～14時10分 自家用車にて長門市総合公園に移動

14時15分 椋塚横穴墓群跡地(6世紀後半～7世紀の横穴墓群。完全消滅した)見学(写真28)

14時35分 小浜山横穴墓群(1墓道に2玄室が設けられた7世紀の横穴墓群。埋め戻し保存された)見学(写真29)

15時15分 上藤中横穴墓群(8世紀の横穴墓群で、山口県内最古の火葬墓墳。現状保存された)見学(写真30)

16時00分 長門深川廃寺・塔心礎(大津郡唯一の白鳳期創建寺院)見学(写真32)

16時30分 駐車場として利用させていただいた近隣スーパーマーケットに戻り解散

出土資料見学会場となったながと歴史民俗資料館では、当日見学を行わない遺跡から出土した資料も展示されていたことから、様々な遺跡に言及しながら解説を行うことができた。また、県内随一の規模を誇り、学界の注目を集めながらも大正年間から昭和にかけての工事で完全消滅した椋塚横穴墓群と、発掘調査後に保存された小浜山横穴墓群、上藤中横穴墓群を対比させることによって、参加者の文化財保護への意識が向上するよう努めたつもりである。

自家用車と徒歩移動(約4.5km)の繰り返して慌ただしい講座となったが、参加者全員無事に講座を終えることができた。参加者からは「車のウォークではなく、全部歩くウォーキングの方がいいと思う。早急にすくも塚古墳跡(看板)が斜めなので直して欲しいと思った」「地元ですが、知らぬこと大変勉強になりました。今回の資料をもとに以後、ゆっくり勉強していきます」「深川廃寺は前から聞きたかったので、今日は本当にありがたかった」などの声が寄せられ、内容の濃い講座であったことを確認することができた。



写真 27 ながと歴史民俗資料室にて資料解説



写真 28 糎塚横穴墓群跡地見学



写真 29 小浜山横穴墓群見学



写真 30 上藤中横穴墓群見学



写真 31 上藤中横穴墓群からの道中



写真 32 長門深川廃寺跡・塔心礎見学